



## 波佐見町 みんな食堂



背中を押してくれた  
職場だからこそできた  
「みんな食堂」



### 現在の活動を実施するに至ったきっかけ

ある日の母子健診の場面で、「自分が作った料理は全然口してくれないのに、ママ友が作った料理はおいしそうに食べているのを見て、何もかも自信がなくなりました」と涙を流しながらお話をされたお母さんがいました。初めての育児で、何が正解かわからない中、頑張らなければと一人奮闘していたのでしょう。家族や友達はいても、悩みを相談することができない状況だったと思います。裕福な家庭でも、一人親でも、貧困家庭でも、**だれでもゆっくり話せて、安心できる場所**が必要だと感じていました。しかし、行政として子ども食堂を実施している事例がなく、思い悩みながら行動に移せませんでした。その中で、課内の管理栄養士や保健師から「できない理由を挙げるより、できることを探してみよう」と背中を押してくれたことが、活動をスタートするきっかけとなりました。

### みんな食堂の特徴

波佐見町の食のボランティア団体である「食生活改善推進員(以下、食改さん)」と連携してモデル事業「みんな食堂」を立ち上げました。活動の大きな目標は、「私たちの町に居場所が必要なことをみんなに知ってもらうこと」とし、誰でも行ける場所でみんなが集える場所を目指しました。そのため、子ども食堂ではなく、「みんな食堂」と名付けました。温かいご飯の提供は食改さんが行い、参加者の中に気になる子や配慮が必要な方がいれば、行政が見守り役となります。また、地域包括支援センターと連動し、生活支援コーディネーターや住民有志の「居場所キャラバン隊」からのバックアップもあり、互いの強みを生かした連携体制を整えることができたと思います。

### 活動する中で感じていること

現在までに計7回、毎回100名ほど参加されるみんな食堂ですが、活動の中で気づいたことは、「保護者の休息につながっている」という点です。子ども達は純粋に参加者との交流を楽しんでいますが、同伴する保護者の方々を見ると、ほっとした表情が伺えることが多いです。その背景には、日々忙しいため、子どもたちとゆっくり過ごす時間がないという事情があると思われます。時々、「子ども食堂を無料飯と勘違いしてくる人がいる」「子どもに食事を作らない親をなぜ支援するのかわからない」という意見を耳にします。“ただ飯”との認識であったり、“母親の怠慢”に見えたとしても、その人の心と身体をサポートにつながる可能性があるのであれば、間違いじゃないと考えています。それが、貧困や虐待抑止につながる可能性があるからです。

### 活動していくうえでの課題、今後の展開など

みんな食堂はあくまでもモデル事業です。やってみることで見えた成果と課題を整理し、今後は、居場所づくりに興味がある団体や個人の方をサポートしていく予定です。また、誰でも参加できる居場所は、役場の窓口では把握できない要支援者をキャッチする貴重な機会になります。勇気を出して参加していただいた方の不安や悩みを引き出せる人材の確保が課題と感じています。ただ居場所を設けるだけでなく、地域の見守り力を上げることで、生きづらさを抱えながら生活する一人ひとりが健やかに暮らすために、必要な人に必要な支援が届く居場所を目指したいと思います。そのためには、事業者や団体だけでなく、行政も首を突っ込んで、地域みんなでまちづくりに取り組んでいきたいと思います。

🏠 みんな食堂

📍 東彼杵郡波佐見町

🆓 無料

👨👩👧👦 波佐見町 子ども・健康保険課

波佐見町 食生活改善推進員

☎ 0956-80-6650



こども食堂



イベント



多世代交流



遊び体験



子育て支援